

1. 実践研究校名

ふりがな	かさおかしりつこうのしまそとしょうがっこう
学校名	神島外小学校

2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の研究体制及び研修計画の作成・検討 ・外国語活動についての研修, 共通理解 		
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動についての研修, 共通理解 ・外国語活動年間計画の吟味・修正 ・外国語活動(授業)開始 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研修会指導案検討 ・研究についての指導(県・市教育委員会) ・評価規準の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市立日比崎小学校研究会視察(1名)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研修会 ・研究内容及び方向性の検討 ・教材研究及び環境整備(長期休業中) ・評価規準表作成 	<ul style="list-style-type: none"> ◇校内授業研究会講師招聘 (鳴門教育大学准教授 兼重昇) (県・市教育委員会) 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の検討, 修正 ・評価規準表作成 ・公開授業研究会資料作成 ・教材研究及び環境整備(長期休業中) 		<ul style="list-style-type: none"> ・県推進協議会参加
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業研究会指導案検討 ・教材研究及び教具の作成 ・校内環境の整備 		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業研究会準備 ・教材研究及び教具の作成 ・校内環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業研究会開催 (講師 県教育委員会指導主事) (講師 市教育委員会) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携授業指導案検討会 ・授業研究会の反省及び課題の明確化 ・小中連携授業打合せ 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携授業 ・研究内容及び方向性の吟味, 検討 ・外国語活動についての研修, 共通理解 ・年間指導計画及び指導案等修正 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究のまとめ」作成及び検討 ・評価規準表の修正 ・アンケート調査(児童, 保護者, 教職員) ・小中連携授業 		<ul style="list-style-type: none"> ・県推進協議会発表
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成 ・アンケート調査の分析, 検討 ・小中連携授業 ・1年間のまとめと反省 		<ul style="list-style-type: none"> ・先進校視察
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間のまとめと反省 ・次年度の研究についての検討 		

【その他の取組】

特になし

3. 取組の具体的な内容 *重点的に取り組んだ事項 (a, b, d, e, f)

<p>a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、 「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践</p> <p>複式学級の2学年が協同で行うための授業のあり方を研究した。英語ノートおよびデジタル教材を中心教材とし、複式学級のためのA年度・B年度の指導計画を検討した。また、英語ノートを効果的に使用するために、児童の実態に合った教材・教具の作成を行った。電子黒板等を有効に利用し、変化に富んだ楽しい授業に取り組んだ。</p>
<p>b 外国語を通じた、言語や文化についての体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究</p> <p>今年度、年間指導計画に合わせて、評価規準表を作成し、毎時間の授業実践の中で、児童のコミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語への慣れ親しみ、言語や文化に関する気付きの具体的な観点に照らして評価し、指導に生かすことで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図った。</p>
<p>c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施</p> <p>毎時間の終わりに振り返りカードによって、自己評価や相互評価をしており、児童の興味・関心を把握したり、次時の指導に生かしたりした。また、少人数の特性を生かし、行動観察や英語ノートの点検などを大切にして、個人の特性に応じた支援を行うための方法を探るようにした。</p>
<p>d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組</p> <p>校内研修と授業公開および授業研究会を行うことで指導力の向上を図った。先進校の視察を通して、先行研究を学ぶとともに、複式授業の視点から外部講師を招聘し、指導をいただく機会を設けた。</p>

【3 / 3 枚目】

<p>e 他の小学校や中学校等との連携</p> <p>隣接する神島外中学校の英語教員等と連携し、外国語活動の小学校から中学校への滑らかな接続を図るため、以下のように場を設定した。</p> <p>① 授業参観を通して 小学校での外国語活動や中学校の外国語科の授業参観をし、児童・生徒の実態を把握し、意見交換をする中で、楽しく分かりやすい授業に取り組むことができた。</p> <p>② 中学校外国語科の指導者とのTTの授業を通して 小学校での外国語活動の授業に、中学校の外国語科指導者がTTという形で入ることにより、より円滑な接続のための教材研究を進めることができた。</p> <p>③ 中学校の外国語科指導者による授業体験を通して 学年の終わりに中学校の外国語科指導者による授業を児童が体験することで、中学校の外国語科を身近に感じ、中学校の授業に対する抵抗感を減らし、外国語に慣れ親しませることができた。</p>
<p>f 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用</p> <p>学級担任と現在市内で配置されているALT（22年度は年間30時間の配置）との連携を図るために、授業の始まるの打合せや終わってからの反省を大切にした。児童の振り返りカードを基に、意見交換することで授業の改善を図ったり、授業の充実を図ることができた。また、市が配置している地域の支援員（22年度は年間25時間の配置）が、個別の支援に当たることで、苦手意識の強かった児童が自信をもって取り組めるようになってきた。効果的な活用法については、まだまだ、研究が必要である。</p>
<p>g その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）</p> <p>下学年からの小さな積み上げが、高学年の外国語活動の充実につながると考えるので、下学年の取り組みについても学校全体の推進体制の中で研究していく必要がある。（単元名や内容の検討）</p>

4. 年間指導計画及び指導案

別添資料参照。

5. 取組の成果等

① コミュニケーションの土台となる「話す」「聞く」態度の育成

コミュニケーションの場面において、「話す」「聞く」という行為は欠かすことができないものである。コミュニケーション能力の育成を効果的に図るための活動の場を工夫したことで、外国語を注意深く聞いて、相手の思いをきちんと理解しようとしたり、他者に対して、進んで丁寧に自分の思いを伝えようとしたりするように気をつけるようになってきている。そこで、日々の授業においても「分かりたい」「伝えたい」という思いを大切に、児童が「伝わったよ!」「話してよかった!」「話してもらってよかった!」という喜びを体験させる中で、コミュニケーションの素地を養っていききたい。

② 「慣れ親しむ」活動の充実

楽しく学ぶための外国語活動の指導方法や指導体制の工夫をする中で、教師自身が主体となり、基本的な指導過程を使って、楽しく授業を進めていけるようになってきている。会話表現に抵抗があった児童も、友達やHLT、ALTと向かい合って表現活動ができるようになり、お互いの人間関係がよりよくなってきている。今後も、知的好奇心を刺激するような内容の話を書く活動や思わず発話したくなる活動を工夫するなど、外国語の音声や基本的な表現に「慣れ親しむ」体験を通して、中学校への円滑な接続を図っていききたい。

③ 児童の実態への立ち返りと複式学級の生かし方

本校の児童の実態を捉え、外国語活動を通して育てたい児童像を明らかにし、年間指導計画や評価規準表を作成した。評価規準表に従って評価し、今後の指導に生かすのはもちろんのこと、常に実態に立ち返った研究及び授業となるようにし、必要に応じて修正していききたい。また、複式学級の特徴を踏まえ、上学年の児童が、リーダーシップをとって積極的なコミュニケーション活動が行えるような場の設定も工夫していききたい。

6. 次年度以降の継続・展開

今年度蓄積した外国語活動の在り方及び年間計画等の評価・修正を行うとともに、来年度完全実施の5・6年生（年間35時間）における外国語活動の指導の充実を図る。また、低学年及び中学年との系統性、中学校との接続も視野に入れて研究を進める。今年度実施した小中連携の体制を引き継ぎながら、実践と検証を繰り返し、より効果のあるものとした。

1 単元名: 「いろいろな衣装を知ろう」 I don't like blue. (英語ノート1 Lesson 5)

2 本時のねらい: 自分の好みをはっきり言ったり, 相手が気持ちよく買い物ができるような声かけしたりして, 買い物を楽しむ。

3 本時の展開 (第3時)

学習活動	教師の支援		準備物
1 挨拶をする。 (3分) I'm here. I'm ○○	T1 (HRT) T2 (ALT) Let's start English class. ・元気に挨拶をし, 外国語活動を始める雰囲気 を高めるようにする。		ネームカード
2 ウォームアップ をする。 (3分)	・ALT の発音のように真似て声に出して みるにより, 英語での発音に慣れ, 既習 したことを振り返ることができるように する。	・衣服絵カードを見せながら発 音し, 既習したことが振り返 ることができるようにする。	衣服絵カ ード
3 チャンツをす る。 (3分) ♪ Do you have a cap?	・場面絵を提示することにより, 買い物の場 面をイメージできるようにする。 ・会話表現カードを提示することで, 会話表 現を思い出すようにする。 ・タンブリンに合わせ, チャンツを繰り返 し行うことで, 本時で扱う会話表現に慣れる ようにする。	・チャンツに合わせて, 絵カー ドを指し示すことにより, 児 童がチャンツを言いやすく する。	場面絵 会話表現 カード タンブリン 衣服絵カ ード
4 買い物ゲーム をする。(30分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> Do you have ○○? を使って, 気持ちよく買い物をしよう。 </div> ・着てみたい衣服を尋ねることで, 買い物を する意欲を高めるようにする。 ・実際に指導者がやり取りを示すことによ り, 好みをはっきりと言うことや, 相手が 気持ちよく買い物ができるよう話かけたり することが大切であることを伝える。 ・何とかして相手が気持ちよく買い物ので きるように考えて活動するために, 商品がな い場合を設定する。 ・各自で着てみたい服装を考えておくこと で, 会話の途中で自分の欲しいものを迷わ ずに言うことができるようにする。 ・smile・voice・gesture を意識しながら表 現させることで, よりよい会話ができるよ うにする。		机 商品カード 基本文型 個人カード
基本文型 (商品がある場合) お客: Hello. 店員: Hello. お客: Do you have a blue cap? 店員: Yes, I do. Here you are. お客: Thank you. 店員: Thank you. Good-bye.	・HRT と一緒に活動例や発音 の模範を示す。 ・必要に応じて以下を示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (商品がなく, 店員にすすめられ て買う場合) お客: Hello. 店員: Hello. お客: Do you have a blue cap? 店員: No, I don't. I have a red cap. お客: Nice color. I like red. 店員: Here you are. お客: Thank you. 店員: Thank you. Good-bye. </div>		
5 本時の振り返 りをする。(6分)	・自分のがんばりや友達のよさ, 楽しかった ことなどの感想を発表させることで, お互 いを認め合えるような雰囲気高めるよ うにする。	・smile・voice・gesture でよ かったところを具体的にあげ ることで, 次時への意欲を 高めるようにする。	振り返り カード
6 挨拶をする。	That's all for today.		

4 評価規準: 相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしようとしている。(外国語への慣れ親しみ)

5 授業後の反省:

- ・友達や指導者とゲームやチャンツなどの活動を繰り返し行う中で, 会話表現に慣れ親しむとともに, 英語によるコミュニケーションを楽しむことができるようにしたい。
- ・チャンツでは, リズムを大切にするとともに, 既習の単語に繰り返し触れさせることによって, 表現に慣れ, 自信をもって英語で表現することができるようにしたい。
- ・Activity では, 場面設定や提示物等を工夫し, 臨場感を出すことで思わず発話したくなるようにしたい。また, 会話表現を使ってコミュニケーションできたことを称揚することにより, 自分の思いを表現できたことに自信をもたせるとともに, もっと自分の思いを伝えようとする意欲を高められるようにしたい。
- ・振り返りでは, 振り返りカードを使って, 自己評価や相互評価を取り入れる。その中で, 特に smile・voice・gesture の観点についてよかったところを称揚することで, コミュニケーションを図ろうとする意欲を高められるようにしたい。また, 友達のよかったところを発表することで, 友達同士で認め合える関係を作ることができるようにしたい。

- 1 **単元名**: 「いろいろな衣装を知ろう」 I don't like blue. (英語ノート1 Lesson5)
 2 **本時のねらい**: 聞き手に買ったものがきちんと伝わるように発表する。
 3 **本時の展開**: (第4時)

学習活動	教師の支援		準備物
	T1 (HRT)	T2 (ALT)	
1 挨拶をする。 (3分) I'm here. I'm ○○. fine/happy/sleepy/hungry.	Let's start English class. ・元気に挨拶をし、外国語活動を始める雰囲気を高めるようにする。	・ネームカードを配り、個別にあいさつをする。 Hello. How are you? Are you fine/happy?	ネームカード
2 チャンツをする。 (2分) ♪Do you have a cap?	・タンブリンに合わせ、全員で手拍子することにより、英語のもつリズムに慣れ親しむようにする。	・チャンツに合わせて、絵カードを指し示すことにより、児童がチャンツを言いやすくする。	タンブリン 衣服絵カード
3 スピーチの仕方を知る。 (4分)	自分が買った服をよく分かるように紹介しよう。		英語ノート CD
4 スピーチをする。 (30分) ①各自で練習をする。 ②発表する。 ③発表の感想を言う。 ④まとめの話を聞く。	・スピーチの仕方を確認することで、自信をもって発表できるようにする。 ・smile・voice・gestureに気をつけてスピーチしている児童を称揚する。 ・児童とALTの選んだ服についての違いや共通点について話を聞かせることで、服の言い方に慣れ親しませる。	・スピーチをする。 Hello. My name is ~. I have a red T-shirt, blue pants, yellow socks, an orange cap and white shoes. I like red. I don't like black. Thank you.	発表用紙
5 本時の振り返りをする。 (6分)	・自分のがんばりや友達のよさ、楽しかったことなどの感想を発表させることで、お互いを認め合えるような雰囲気を高めるようにする。	・smile・voice・gestureでよかったところを具体的にあげること、次時への意欲を高めるようにする。	振り返りカード
6 挨拶をする。	That's all for today.	Good-bye, See you.	

4 **評価規準**:

自分の買った服をはっきりと紹介しようとしている。(外国語への慣れ親しみ)

5 **指導後の反省**:

- ・ゲームやチャンツなどを通して、言い方に慣れてきており、前時の活動に満足した児童は、自信をもって練習できていた。
- ・不安そうな児童も、言い方の分からないところをALTやHRTと一緒に練習することができ、スピーチの時には、自分が買ったものを自信をもって発表する姿がよく見られた。
- ・単元全体を通して、笑顔で関わり、進んでコミュニケーションを図ろうとする子どもの姿が見られた。

- 1 単元名:「友だちの誕生日を知ろう」 When is your birthday? (英語ノート2 Lesson 3)
 2 本時のねらい: 進んで自分や相手の誕生日について答えたり尋ねたりする。
 3 本時の展開 (第4時)

学習活動	教師の支援		
	T1 (HRT)	T2 (ALT)	準備物
1 挨拶をする。(3分) Let's start English class. I'm here. I'm ○○./	Let's start English class. ・元気に挨拶をし、外国語活動を始める雰囲気を高めるようにする。	・ネームカードを配り、個別に挨拶し、児童一人ひとりの様子をつかむ。 Hello. How are you? Are you happy/fine?	ネームカード
2 ウォームアップをする。(3分)	・ALTの発音のように真似て声に出してみることにより、英語での発音に慣れ、既習したことを振り返るようにする。	・絵カードを見せながら発音し、既習事項を振り返ることができるようにする。	絵カード (月・序数)
3 チャンツをする。(3分) ♪Twelve Months♪	・タンブリンに合わせて、全員で手拍子することにより、英語のもつリズムに慣れる。 ・チャンツを繰り返し行うことで、本時で扱う単語に慣れるようにする。	・チャンツに合わせて、絵カードを指し示すことにより、月名が確認できるようにする。	タンブリン
4 インタビューゲームをする。(30分) ・自分の誕生日 ・有名人の誕生日	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進んで誕生日についてたずねたり答えたりしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いてみたい人物を尋ねることにより、インタビューゲームの意欲を高める。 ・ペアでインタビューを行う場所を設定することで、周りの声を気にせず相手を意識して会話できるようにする。 ・全員が、有名人カードを首にかけて、活動することによって、誕生日について、尋ねやすくする。 ・友だちの言っていることが1度聞いただけでは分からない場合は、Once more や Slowly を使うよう助言する。また、Nice Smile・Clear Voice・Good Gesture を意識しながら表現するよう助言する。 ・インタビューゲームで分かったことや知ったことを発表させることで、コミュニケーションすることのよさを味わうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本を示すことで、活動内容を理解したり、話すことを確認したりできるようにする。 ・児童と一緒に活動に参加することで、英語での言い方や発音に慣れるようにする。 ・活動の様子を見て、ほめたり支援したりする。 	ケンステップ 有名人カード ワークシート ハンダー
5 本時の振り返りをする。(6分)	・自分のがんばりや友達のよさ、楽しかったことなどの感想を発表させることで、お互いを認め合えるようにする。	・Nice Smile Clear Voice Good Gesture でよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。	振り返りカード
6 挨拶をする。	That's all for today.	Good-bye. See you	

- 4 評価規準: 進んで自分や相手の誕生日について答えたり尋ねたりしようとしているか。
 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 5 授業後の反省: 少人数ということで、友達誕生日を知るだけでは、活動が小規模になるため、有名人の誕生日を取り入れた。そうすることで、多くの月や日にちに慣れ親しみ、また、活動に興味をもち、進んでコミュニケーションを図ろうとしたことは、大きな成果であった。

- 1 **単元名**:「時間割を作ろう」 I study Japanese. (英語ノート1 Lesson 8)
 2 **本時のねらい**:教科名や曜日を扱ったゲームを積極的に楽しむ。
 3 **本時の展開**(第2時)

学習活動	教師の支援		準備物
	学級担任の活動:T1	中学校の英語指導教諭:T2	
1 挨拶をする。 (3分) Let's start English class. I'm here. I'm ○○. fine/happy/sleepy/hungry	Let's start English class. ・元気に挨拶をし、外国語活動が始める雰囲気を高めるようにする。	・ネームカードを配り、個別にあいさつをすることで、児童一人ひとりの様子をつかむようにする。 Hello. How are you? Are you fine/happy/hungry/sleepy?	ネームカード
2 ウォームアップをする。(3分)	・T2の発音のように真似て声に出してみるにより、英語での発音に慣れ、既習したことを振り返ることができるようにする。	・絵カードを見せながら発音し、既習したことを振り返ることができるようにする。	絵カード
3 チャンツをする。(3分)	・カスタネットに合わせ、全員で手拍子することにより、英語のもつリズムに慣れ親しむようにする。 ・チャンツを繰り返し行うことで、本時で扱う単語に慣れる。	・チャンツに合わせて、絵カードを指し示すことにより、曜日が確認できるようにする。	カスタネット パソコン プロジェクタ
4 教科名や曜日を扱ったゲームをする。 ・曜日あてクイズをする。(10分) ・ビンゴゲームをする。(10分) ・CDを聞いて、時間割を完成する。(10分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教科名や曜日を扱ったゲームをして楽しもう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 教科名を何度も聞くことで、教科名の言い方に慣れるようにする。 質問に教科名で答えることで、教科名の言い方に慣れるようにする。 見本を示すことで、活動内容を確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の時間割を見ながら、ある曜日の時間割を言い、何曜日が答えさせる。 質問の内容で理解しにくい場合は、指で数字を表したり、時間割をさし示したりすることで、内容の意味が理解できるようにする。 What subject do you study first period on Monday? 児童と一緒に活動に参加したりヒントを出したりすることで、英語での言い方や発音に慣れるようにする。 活動の様子を見て、ほめたり支援したりする。 	時間割表 絵カード ビンゴシート ビンゴカード パソコン プロジェクタ ワークシート 教科カード
5 本時の振り返りをする。(6分)	・自分のがんばりや友達のよさ、楽しかったことなどの感想を発表させることで、お互いを認め合えるような雰囲気を高める。	・Nice Smile Clear Voice Good Gesture でよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。	振り返りカード
6 挨拶をする。	That's all for today.	Good-bye, See you.	

4 **評価規準**:教科名を聞いて理解し、ゲームに積極的に参加しようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

5 **授業後の反省**:小中連携という趣旨で授業を組み立てて中学校の指導者とTTの形で行った。T2は、いつもの授業より多くの単語を使用した。真剣に聴き、理解しようと努力していた。発音面で気になるところは、繰り返しの途中で、自然に修正することができた。どの児童もゲームに大変積極的に参加することができた。英語ノートデジタル版も使いながら、楽しく学習することができた。

1 単元名:「時間割を作ろう」 I study Japanese. (英語ノート1 Lesson 8)

2 本時のねらい: 作成した時間割をもとに, 自分のオリジナル曜日時間割を伝える。

3 本時の展開 (第3時)

学習活動	教師の支援		準備物
	T1 (HRT)	T2 (ALT)	
1 挨拶をする。(3分) Let's start English class. I'm here. I'm ○○. fine/happy/sleepy/hungry	Let's start English class. ・元気に挨拶をし, 外国語活動を始める雰囲気を高めるようにする。	・ネームカードを配り, 個別にあいさつをすることで, 児童一人ひとりの様子をつかむようにする。 Hello. How are you? Are you fine/happy/hungry/sleepy?	ネームカード
2 ウォームアップをする。(3分) (チャンツをする。)	・T2の発音のように真似て声に出してみることにより, 英語での発音に慣れ, 既習したことを振り返ることができるようにする。	・絵カードを見せながら発音し, 既習した曜日や教科のことを振り返ることができるようにする。	絵カード カスターネット
3 CDを聞いて, 3人の担当教科を聞き取り, 教科名と教師とを線で結ぶ。(3分)	・英語ノート p54の教師が何を教えているかを推測し, CDを注意深く聞くことができるようにする。 ・CDを注意深く聞いて, 3人の教師は, どの教科担当かを聞き取れているか確認する。	・CDが聞き取れない児童に対しては, ALTの声で直接, 繰り返して, 発音を聞かせることで, 聞き取りやすくする。	パソコン プロジェクタ
4 時間割表に絵カードを置いて, オリジナル曜日時間割を作る。(30分) ・ペアで, 作成した時間割を紹介し合う。 On Monday I study Japanese, English, math and P.E. 作った理由は, ○○です。 ・全員の前で, 作成した時間割を紹介する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分のオリジナル曜日時間割を作って紹介しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ノート p55の中で曜日を1つ選び, 教科の絵カードを置いてオリジナル曜日時間割を作ることを知らせる。 ・見本を示すことで, 活動内容を確認できるようにする。 ・作成した理由も付けて, 話すことでコミュニケーションを楽しめるようにする。 ・Nice Smile・Clear Voice・Good Gestureを意識しながら表現するよう助言する。 ・友達の発表で気づいたことを発表させることで, コミュニケーションの楽しさを味わうことができるようにする。 	<p>Look at page 55. Choose only one day of week. Make your favorite schedule on that day.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の内容で理解しにくい場合は, 指で曜日や教科をさし示したりすることで, 意味が理解できるようにする。 ・ペアの様子を観察する中で, 英語で話しにくい児童には, 繰り返し見本を示すことで, 自信をもって話せるようにする。 ・活動の様子を見て, ほめたり支援したりする。 	時間割表 絵カード パソコン プロジェクタ ワークシート 教科カード
5 本時の振り返りをする。(6分)	・自分のがんばりや友達のよさ, 楽しかったことなどの感想を発表させることで, お互いを認め合えるような雰囲気を高める。	・Nice Smile Clear Voice Good Gesture でよかったところを具体的にあげることで, 次時への意欲を高めるようにする。	振り返りカード
6 挨拶をする。	That's all for today.	Good-bye, See you.	

4 評価規準: 作成した時間割をもとにオリジナル曜日時間割を分かりやすく伝えようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

5 授業後の反省: ペアで紹介する活動に時間をかけることで, 自信をもって話せるようになった。また, ペアが変わって話すうちに, だんだんと楽しんで話したり, ゆとりをもって聞けたりするようになった。さらに, 全員の前でも分かりやすく伝えようと工夫していた。理由を付け加えることで, 興味をもって聞くことができた。

外国語活動年間指導・評価計画 A年度

単元	タイトル	指導内容	評価の観点					
			コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語への慣れ親しみ		言語や文化に関する気付き	
			評価規準	評価方法	評価規準	評価方法	評価規準	評価方法
1 4月	世界の「こんにちは」を知ろう (英語ノート1 Lesson1) What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet you. 等	第1時 世界には、様々な挨拶があることを知る。	・積極的に様々な挨拶を言おうとしている。	行動観察				
		第2時 挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。					・マナーを守り、積極的に挨拶を言おうとしている。	行動観察
		第3時 友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。	・自分から進んで相手と挨拶をし、名刺を交換している。	行動観察				
2 5月	ジェスチャーをしよう (英語ノート1 Lesson2) How are you? / I'm happy. 等	第1時 様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・感情や様子を表す語を進んでジェスチャーで表そうとしている。	行動観察				
		第2時 ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える。	・進んでジェスチャーを付けて、挨拶しようとしている。	行動観察				
		第3時 自分の様子にジェスチャーを付けて、相手に挨拶をする。	・自分の様子にジェスチャーを付けて、相手に伝えようとしている。	行動観察				
3 6月	数で遊ぼう (英語ノート1 Lesson3) How many? / Five. 等	第1時 世界には、様々なジェスチャーがあることを知るとともに1～10の数を言う。			・1～10の数を言いながら進んで歌おうとしている。	行動観察	・様々な数え方のジェスチャーがあることに興味を持って指導者の話を聞こうとしている。	行動観察 英語ノート点検
		第2時 世界には、様々なジェスチャーがあることを理解し、1～20の数を言う。					・様々な数え方があることに興味を持ち、進んで指導者の話を聞こうとする。	行動観察
		第3時 幾つか尋ねたり、1～20の数で答えたりする。			・友だちに積極的に数を尋ねたり、答えたりしている。	行動観察		
		第4時 数を扱ったゲームを友だちと行う。			・20までの数を聞いたり言ったりして、積極的にゲームに参加している。	行動観察		
4 7月	自己紹介をしよう (英語ノート1 Lesson4) Do you like apples? / Yes, I do. / No, I don't. / I like bananas. / Thank you. 等	第1時 好き嫌いについて聞き取る。					・CDやALTの説明を聞いて、英語ノート24Pの上段と下段の絵を線で結んでいる。	行動観察 英語ノート点検
		第2時 自分の好き嫌いを相手に伝える。	・自分の好きなものを含めて自己紹介をしようとしている。	行動観察				
		第3時 友だちに好き嫌いを尋ねる。			・友だちに好き嫌いを尋ねている。	行動観察 英語ノート点検		
5	できることを紹介	第1時	・まとまった話を聞いて	行動観察英				

9月	介しよう (英語ノート2 Lesson4) Can you swim? / Yes, I can. / No, I can't. I can swim. I can't swim. 等	相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。	て、誰がどのようなことができるかを聞き取ろうとしている。	語ノート点検				
		第2時 質問に答えて、自分にできることと、できないことを伝える。	・できるかどうかの質問に答えようとしている。	行動観察				
		第3時 友だちとどのようなことができるのかを、尋ねたり答えたりする。			・〇〇ができるかどうかを尋ねたり、答えたりしている。	行動観察		
		第4時 自分のできることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	・自分ができることやできないことを発表している。	発表観察	・相手ができることやできないことを聞いて、理解しようとしている。	行動観察		
6 10月	外来語を知ろう (英語ノート1 Lesson6) What do you want? / Melon, please. 等	第1時 外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。					・外来語は様々な国から日本に伝わった言葉であることや、もともになる言葉と違いがあることに気付く。	行動観察
		第2時 相手から尋ねられた際、自分の欲しい物を相手に頼む。			・自分の欲しい食べ物をメニューから選んで答えている。	発表観察		
		第3時 欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る。	・欲しいものを尋ねたり答えたりして、自分のフルーツ・パフェを作ろうとしている。	行動観察				
		第4時 作ったフルーツ・パフェを紹介する			・自分の作ったパフェをクイズ形式で紹介しようとしている。	発表観察		
7 11月	道案内をしよう (英語ノート2 Lesson5) Where is the flower shop? / Go straight. Turn right. / left. / Stop. 等	第1時 町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。	・建物の言い方を聞いて、それを指さそうとしている。	行動観察				
		第2時 方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。			・方向や動きを指示する表現を聞き取って、目的地に到着しようとしている。	行動観察 英語ノート点検		
		第3時 方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的の場所を教える。	・方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的場所を伝えようとしている。	行動観察				
		第4時 実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。			・方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的場所を教えたり、案内されたとおりに行こうとしたりする。	行動観察 英語ノート点検		
8 12月	行ってみたい国を紹介しよう	第1時 世界には様々な英語				・様々な英語があることに気づく。	発表観察	

	(英語ノート2 Lesson6) I want to go to Italy. / Let's go. 等	があることを知る。 第2時 行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。 第3時 行きたい国を尋ねたり答えたりする。	・自分が、行きたい国について、理由とともに発表しようとしている。	行動観察				
9 1月	ランチ・メニューを作ろう (英語ノート1 Lesson9) What would you like? / I'd like juice. 等	第1時 日本と外国とでは朝食時に食べているものが異なっていることを知る。 第2時 食べ物や料理を表す語を知る。 第3時 丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。 第4時 グループで作成したオリジナル・ランチ・セットを紹介する	・丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、質問に対して自分の欲しいものを伝えたりしようとしている。	行動観察			・日本と外国では、主に朝食で、食べるメニューが違うことに気付く。	行動観察
			・食べ物や料理を表す語を理解して、言おうとしている。	行動観察				
			グループでオリジナル・ランチ・セットを作り、分かりやすく紹介しようとしている。	発表観察				
10 2・3 月	将来の夢を紹介しよう (英語ノート2 Lesson9) What do you want to be? / I want to be a teacher. 等	第1時 様々な職業の言い方を知り、将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。 第2時 将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。 第3時 スピーチ・メモをもとに理由を含め自分の夢を友だちに紹介する。	将来つきたい職業について、相手に尋ねたり答えたりしようとしている。	行動観察			・世界の子どもたちも自分たちと同じように、将来に夢を描いていることを知ろうとしている。	行動観察
			・将来つきたい職業や夢について、スピーチ・メモをもとに、みんなに紹介しようとしている。	行動観察 スピーチ メモ				

外国語活動年間指導・評価計画 B年度

単元	タイトル	指導内容	評価の観点					
			コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語への慣れ親しみ		言語や文化に関する気付き	
			評価規準	評価方法	評価規準	評価方法	評価規準	評価方法
1 4月	世界の「こんにちは」を知ろう (英語ノート1 Lesson1) What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet you. 等	第1時 世界には様々な挨拶があることを知る。	・積極的に様々な挨拶を言おうとしている。	行動観察				
		第2時 挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。					・マナーを守り、積極的に挨拶を言おうとしている。	行動観察
		第3時 友だちと挨拶をし、作成した名刺を交換する。	・自分から進んで相手と挨拶をし、名刺を交換している。	行動観察				
2 5月	ジェスチャーをしよう (英語ノート1 Lesson2) How are you? / I'm happy. 等	第1時 様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・感情や様子を表す語を進んでジェスチャーを付けて、挨拶しようとしている。	行動観察				
		第2時 ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを付けて思いを伝える。	・進んでジェスチャーを付けて、挨拶しようとしている。	行動観察				
		第3時 感情や様子を、ジェスチャーを付けて、相手に伝えようとしている。	・自分の様子にジェスチャーを付けて、相手に伝えて表現し、伝える。	行動観察				
3 6月	いろいろな衣装を知ろう (英語ノート1 Lesson5) I don't like blue. 等	第1時 世界には様々な衣服があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。					・世界には様々な衣装があることを理解しようとしている。	行動観察
		第2時 自分の意見をはっきり言うことの大切さに気付くとともに、衣服を買う時の表現を知る。	・好みをはっきり言い、自分の欲しい衣服をもらおうとしている。	行動観察 用紙点検				
		第3時 好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買物ができるように声をかけたりする。			・相手が気持ちよく買物ができるような声かけをしようとしている。	行動観察		
		第4時 聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。			・自分の買った服をはっきりと、紹介しようとしている。	行動観察		
4 7月	アルファベットで遊ぼう (英語ノート2 Lesson1) What's this? / It's ~. / A ~ Z 等	第1時 アルファベット大文字の読み方を知る。			・アルファベットの大文字とその読み方を一致させようとしている。	行動観察		
		第2時 アルファベット文字の読み方をきいて、大文字を認識する。					・アルファベットの大文字に興味を持ち、絵の中からそれらを探そうとしている。	行動観察 英語ノート点検
		第3時 自らアルファベットの文字を読み、大文字とその読み方を一致させる。			・進んで、身の回りにあるアルファベットの大文字とその読み方を一致させようとしている。	行動観察 英語ノート点検		
5	いろいろな文字	第1時					・様々な文字を見て、	行動観察

9月	<p>があることを知ろう</p> <p>(英語ノート2 Lesson2)</p> <p>What's this? /a ~z 等</p>	世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには小文字もあることを知るとともに、1~20までの数を言う。					それがどの言語の文字であるかを進んで考えようとしている。	
		第2時 アルファベットの小文字に興味をもち、小文字を認識する。			アルファベットの小文字とその読み方を一致する。	行動観察		
		第3時 自らアルファベットの文字を読み、小文字とその読み方を一致させる。1~20までの数を言う。			・進んで、身の回りにあるアルファベットの小文字とその読み方を一致させようとしている。	行動観察 英語ノート点検		
		第4時 身の回りにあるアルファベット表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字に慣れ親しむ。			・アルファベットの大文字と小文字とを見て書き写し、紹介し合う。	行動観察 英語ノート・作品点検		
6 10月	<p>友だちの誕生日を知ろう</p> <p>(英語ノート2 Lesson3)</p> <p>When is your birthday? / My birthday is March 3rd. 等</p>	第1時 日本の行事や特徴を確認し、行事の行われる月の言い方を知る。					・日本の季節・行事などに興味を持ち、それらが何月のものかを答えようとしている。	行動観察、英語ノート点検
		第2時 自分や家の人の誕生日を言う。			・自分の誕生月を言い、月の言い方に慣れ親しもうとしている。	発表観察		
		第3時 自分や家の人の誕生日を言う。また、1~20までの数、21以上の数を言う。			・誕生日についてのまとまった話を聞いて、理解しようとしている。	行動観察 英語ノート点検		
		第4時 自分や友だちの誕生日について尋ねたり答えたりする。	・進んで自分や友だちの誕生日を尋ねたり、答えたりしようとしている。	行動観察、英語ノート点検				
7 11月	<p>自分の一日を紹介しよう</p> <p>(英語ノート2 Lesson7)</p> <p>What time do you get up? / At 7:00. / I go to bed. 等</p>	第1時 世界には時差があることを知るとともに、時間についての表現を知る。					・興味をもって、時差や世界の子どもたちの様子について聞こうとしている。	行動観察、英語ノート点検
		第2時 先生の一日の生活について話を聞き、その概要を理解する。			・時刻を聞いて何時かを理解しようとしている。	行動観察 英語ノート点検		
		第3時 自分の生活に関する表(生活表)を作成する。	・生活表の作り方を理解し、生活表を作成しようとしている。	行動観察 英語ノート点検				
		第4時 作成した生活表をもとに、自分の一日を紹介する。	・生活表をもとに、分かりやすく、自分の生活を紹介しようとしている。	行動観察 英語ノート点検				
8 12月	クイズ大会をしよう	第1時 英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちの					・漢字の読み方を考える活動を通して、漢字の成り立ちの面白さに	行動観察

	(英語ノート1 Lesson7) What's this? /It's a pencil. 等	面白さに気付く。					気付く。	
		第2時 What's this?の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。			What's this? という表現を使い、相手に質問しようとしている。	行動観察		
		第3時 友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。			・英語でのコミュニケーションを楽しんでいる。	行動観察		
9 1・2 月	時間割を作ろう (英語ノート1 Lesson8) I study Japanese. 等	第1時 外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。					・ALTの母国や、中国、オーストラリアなど日本以外の国の小学校でどのような教科が学習されているのかに興味をもって聞こうとしている。	
		第2時 教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。	・教科名を聞いて理解し、ゲームに積極的に参加しようとしている。	行動観察				
		第3時 作成した自分のオリジナル曜日時間割を友だちに伝える。	・作成した時間割をもとにオリジナル曜日時間割を分かりやすく伝えようとしている。	行動観察				
		第4時 グループで作成した時間割を発表する。			・自分たちの作成した時間割を分かりやすく発表しようとしている。	行動観察		
10 2・3 月	将来の夢を紹介しよう (英語ノート2 Lesson9) What do you want to be? / I want to be a teacher. 等	第1時 様々な職業の言い方を知り、将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。					・世界の子どもたちも自分たちと同じように、将来に夢を描いていることを知ろうとしている。	行動観察
		第2時 将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。	・将来つきたい職業について、相手に尋ねたり答えたりしようとしている。	行動観察				
		第3時 スピーチ・メモをもとに、理由を含め自分の夢を紹介する。			・将来つきたい職業や夢について、スピーチ・メモをもとに、みんなに紹介しようとしている。	行動観察		